



「ハイヒール」「キカ」「私の秘密の花」の  
ペドロ・アルモドバル監督・脚本作品

# ライブ・フレッツシユ

人生を、愛を、決定する一瞬がある

マドリドで暴発した謎の銃弾が  
5人の男女の、子供ごころの  
危険な純愛に火をつけた……

“現代の偉大な傑作！” 仏〈カイエ・デュ・シネマ〉

“洗練されたエロティシズムの香り” 米〈ニューヨーク・タイムズ〉

CARNE TREMULA  
LIVE FLESH



監督・脚本 ● ペドロ・アルモドバル  
原作 ● ルース・レンテル  
[角川文庫刊(引き裂る肉)]  
脚色 ● ペドロ・アルモドバル、ライロリガ、  
ホルヘ・ゲリカエチェバリア  
撮影 ● アフォンソ・ヘアト  
音楽 ● アルベルト・イクレシアス  
[サントラCD=BMGジャパン]  
編集 ● ホセ・サルセド  
美術 ● アンチョン・ゴメス  
衣装 ● ホセ・マリア・テ・コシオ  
録音 ● ヘルナルド・メンス  
制作 ● エステル・ガルシア  
製作 ● アグスティン・アルモドバル  
ハビエル・バルテム  
フランチェスカ・ネリ  
リベルト・ラバル  
アンヘラ・モリーナ  
ホセ・サンチョ  
ベネロベ・クルス  
ピラル・バルテム  
1997年西仏合作スペイン映画  
製作 ● EL DESEO S.A.  
CIBY 2000  
FRANCE 3 CINEMA PRODUCTIONS

©EL DESEO S.A. -CIBY 2000/FRANCE3-1997

傑作を世界から届ける ● パウ・シリウス作品  
提供 リゾナンス映画社 日本ビデオター



面白くて心をうつ、と絶賛を浴びるアルモドバルの傑作！●"ブラック・コメディで、メロドラマで、悲痛なまでのサイコドラマ。〈米、デイリー・ニュース〉●"こんなにセクシーなスリラー映画はなかった"〈米、USA TODAY〉



●"荒々しく魅惑的。常識を超えるおかしさでブレーキが吹っ飛ぶ"〈米、ローリング・ストーン〉

「ライブ・フレッシュ」はペドロ・アルモドバルの97年完成の最新作で長編第12作。87年「神経衰弱ぎりぎりの女たち」(アカデミー外国語映画賞ノミネート)で世界中にセンセーションを起こし、アントニオ・バンデラス主演の連作でヒットを飛ばすとともに、90年代には「アタメ」(90)、「ハイヒール」(91)、「キカ」(93)、「私の秘密の花」(95)で1作1作世界的な注目を浴びてきた。

禁じられたテーマに大胆に取り組み、破天荒、不謹慎、猥雑と言われることを恐れず、ハイで危険、超現代的、超過激と評され、ゲイ、ドラッグ、ポップ、何でもあり/とまで言われる自由な感覚で知られ、原色(特に赤)の強烈な映像美を打ち出し、ゴルチエや坂本龍一と組むファッションブルなセンスで、世界の先端を走る鬼才だ。



〈アルモドバル・ブランド〉とまで言われるそんな特徴から一気に新たな作風に挑んだのが新作「ライブ・フレッシュ」だ。推理映画の面白さを満喫させながら、古典の香りをたたえる見事な完成ぶりです。今、ニュー・アルモドバル時代の到来と、そしてアルモドバルの最高傑作と、ニューヨークでもパリでも異常な熱気で高い評価を得ている。

## フランコ独裁時代を初めて描く、アルモドバルのスペイン現代史

人生、何が起こるか分からない。ビクトルが生まれたのは1970年正月のマドリード。フランコ独裁政権末期の頃で、戒厳令が発せられて街に出ることが禁じられた夜、売春婦だった母が急に産気づいて、ビクトルは市バスのなかで生まれた。そんな出産をテレビの報道番組が美談としてとりあげ、母とビクトルは表彰される。生涯無料の市バスのフリー・パスがご褒美だった。

20年後、成人したビクトルはエレナに恋している。エレナはイタリア領事の娘でマリファナに夢中。訪れたビクトルを銃で脅して追い返そうとする。急を救いに、二人の刑事ダビドとサンチョが駆けつけるが、その時暴発した銃が、サンチョの妻クララを含む5人の男女を、子供ごころの危険な純愛に出發させる。



# ライブ・フレッシュ

ペドロ・アルモドバル監督・脚本作品

BOW フランス映画社・日本ビクター提供  
傑作を世界からはこぶハウ・シリーズ作品  
フランス映画社配給

ビクトルを演じるのはリベルト・ラバル。「ピリディアナ」などブニュエル映画で知られるスペインの名優フランシスコ・ラバルの孫で、甘い美貌と、柔軟な感性、若さ輝く肉体美でビクトル役を魅力たっぷりに演じて、このビクトル役がアントニオ・バンデラスを思わせるだけに、バンデラスの再来と早くも人気沸騰している。エレナはビクトルとダビドの二人の男を破滅に陥れ、ダビドと結婚するが、ついにはビクトルへの愛を回復する。この難役を美しく演じるのは「ルルの時代」などスペイン映画でも活躍するイタリア女優フランチェスカ・ネリ。謎の銃弾事件の後、エレナと結婚して彼女に支えられ、車椅子でバスケットの国民的ヒーローになる元刑事ダビドは、スペインで映画とテレビで現在人気ナンバーワン俳優のハビエル・バルデム。ダビドの先輩刑事で、妻クララへの嫉妬の愛に燃える、いかにもスペインっぽい悲喜劇的な男サンチョを演じるのは名優ホセ・サンチョ。

そして、純粋な女クララ役で登場するのは、ブニュエルの「欲望のあいまいな対象」で国際的なデビューを飾った大女優アンヘラ・モリーナ。いずれもアルモドバル映画に初登場の華麗な顔ぶれだ。



原作は英国の女性推理作家で二つの名を持つパーバラ・ヴァインガルス・レンデル名で発表し、CWA(英国推理作家協会)のゴールド・ダガー賞を受賞した〈ライブ・フレッシュ〉(角川文庫)。名作を土台に自由に脚色し、自作に初めてフランコ時代を登場させて大きく歴史をも描く展開で、ベアトの撮影とイグレシアスの音楽が、美しく深い、見事な陰影を与えている。

## CARNE TREMULA LIVE FLESH

●ビクトル=リベルト・ラバル、エレナ=フランチェスカ・ネリ、ダビド=ハビエル・バルデム、クララ=アンヘラ・モリーナ、サンチョ=ホセ・サンチョ、売春宿の女主人=ビラル・バルデム、母イサベル=ベネロベ・クルス、バス運転手=アレックス・アングロ ●監督・脚本=ペドロ・アルモドバル/原作=ルース・レンデル/脚色=アルモドバル、ライ・ロリガ、ホルヘ・ゲリカエチェバリア/撮影=アフォンソ・ベアト/音楽=アルベルト・イグレシアス/編集=ホセ・サルセド/美術=アンチョン・ゴメス/衣装=ホセ・マリア・デ・コシオ/録音=ベルナルド・メンズ/制作=エステル・ガルシア/製作=アグスティン・アルモドバル  
1997年西仏合作スペイン映画/製作&© EL DESEO S.A., CIBY 2000, FRANCE3  
製作/スコープ、5巻、2,763m、1時間41分、 ●原作=角川文庫「引き裂る肉」●サントラ=BMGジャパン

10月23日(金)より ナビオ シネ  
オープニングロードショー決定!

特別鑑賞券1600円  
ペア券3000円  
絶賛発売中  
(当日一般1800円の処、ペア券は劇場窓口のみ)  
劇場窓口のみポスター付

梅田・HEPナビオ7F 06-316-1318